

## 三好市名誉市民 船井哲良氏より

### 船井電機池田工場跡地を

寄贈いただきました

12月5日、交流拠点施設整備予定地である工場跡地（池田町マチ・16247㎡）を船井電機株式会社社長船井哲良氏から市に寄贈いただきました。

大阪府大東市の船井電機本社において行われた調印式では、市との寄附契約締結後、船井会長より、「十年來の約束を果たせた満足感でいっぱい」「人づくりの場所、交流の場所として十分活用されることを期待している」との言葉をいただきました。

神戸市生まれの船井会長は、昭和20年両親の出身地に近い三野町に疎開し、佐馬地青年学校の代用教員として約2年間を過ごされました。その後大阪に戻り30代で船井電機を創立、国内外に従業員約5千人を抱える大企業に育て上げられました。



「大きな夢、大きな志を持った若者を支援することが自分の使命」と財団法人船井奨学会を設立し大学生や高校生に対する奨学金支給支援、財団法人船井情報科学振興財団を設立し情報科学技術に関し顕著な功績のあった研究者に対する褒章事業、日本人海外留学生に対する奨学金支給支

援、また京都大学に船井哲良記念講堂および船井交流センターを寄贈するなど日本から世界に羽ばたくとする若者を支援するなど、社会貢献活動にも力を注がれています。自然風土が豊かで美しい三好市を「心の故郷」と愛される船井会長からは、これまでも毎年多額のふるさと納税をいただいています。

船井工場跡地の御寄附には、「故郷三好市から、日本に、世界に羽ばたく人づくりの場所になってほしい。そして多くの交流を生み出す場所になってほしい」という船井会長の熱い思いが込められています。



調印式で握手を交わす船井会長と俵市長

世界に羽ばたく人づくりの場所、多くの交流を生み出す場所になってほしい

## 三好市交流拠点施設整備実施計画が

### 策定されました

現在三好市が進めている交流拠点施設整備に関し、昨年5月に策定された基本計画を基に「三好市交流拠点施設整備実施計画」が策定されました。

この実施計画は、より具体的な計画とするため、実施計画検討委員会、同市民部会、同行政部会を起ち上げ、約一年間市民の皆様とともに多くの意見を出し合い検討を重ねてつくりあげたものです。

実施計画の内容については、今月からシリーズでご紹介していきます。なお、実施計画書の閲覧は三好市役所文化交流推進課にて、また三好市ホームページにも掲載しています。

お問い合わせ先 三好市文化交流推進課（電話7217633）

### シリーズ① 交流拠点施設で行う事業計画

交流拠点施設で行う事業について、基本計画で示した7つの事業区分ごとに事業イメージや事業例が示され、実施計画ではより具体化されています。

#### 交流・連携事業

全ての事業のベースとなる事業。市内外から訪れた人々がともに集う機会を提供。既存施設との連携で事業の広がりを保つ。

事業例▽市民文化祭など文化・交流イベントほか、阿波踊り定期公演、小中高生連携演奏会、美術展、書道展など。

#### 育成事業

文化芸術活動や交流活動を行う人材を育成するとともに、定期的な講座実演の機会を設け、鑑賞力の向上を図る。また伝統芸能、伝承文化を保存、継承する。

事業例▽アーティスト、スタッフ、ボランティア育成事業。（講座、ワークショップ、研修など）伝統芸能の普及継承活動。

#### 鑑賞事業

あらゆる分野の優れた文化芸術作品の鑑賞機会を設け、芸術家らと協働した事業を開催し多様なメニューを提供できるよう取り組みを行う。

事業例▽県立近代美術館との連携による移動美術館、三好市ゆかりの芸術家の公演や展覧会など。

#### 普及事業

文化芸術を身近に感じてもらうための啓発活動を行い、市民の文化意識の向上を図る。

事業例▽気軽に立ち寄れるロビーでのコンサートや展示会。親子で楽しめる芸術鑑賞事業。市内各所での出前授業・公演など。

#### 創造事業

新たな文化芸術分野の開拓と既存の文化芸術活動の保護、育成。柔軟性とオリジナリティ溢れる活動につなげる。

事業例▽演劇や映画などオリジナル作品の製作関与、メディア芸術やサブカルチャーなど新しい創造活動の支援など。

#### 情報事業

文化芸術活動や交流活動に関する情報を幅広く収集し、広く市民や来訪者に発信する。

事業例▽情報検索コーナー、ホームページ開設、広告宣伝活動、機関紙、フリーペーパー発行など。

#### 施設提供事業

文化芸術活動や交流活動を行う市民や優れた文化芸術の鑑賞機会を提供する団体や組織に対して積極的に施設や設備を提供する。

事業例▽市内外各種大会、会議、公演、イベント誘致。携帯などから予約可能なインターネット予約システムの採用など。

